

令和6年度 長野県病院薬剤師会 事業計画

長野県病院薬剤師会

長野県病院薬剤師会では、地域医療の10年先のあるべき姿を見据えて、病院薬剤師による医療の質の向上ならびに厚生福祉の増進への寄与を通じて、長野県民が地域に暮らしながら安心して質の高い薬物治療を受けることのできる医療提供体制の充実を目指す。その実現にあたり、本会が取り組む各事業における活動内容の透明性を確保しながら、組織ガバナンスのもとで中長期的な視点から計画的かつ効果的な事業を展開する。また、各支部においても、長野県の各地域の特性を考慮した地域包括ケアシステムを整備する。また、本会が取り組む活動について、長野県や他の職能団体と協調して取り組むことで、病院薬剤師の地域医療への貢献に対する社会的プレゼンスを向上させる。

令和6年度の本会の運営ビジョンおよび事業計画の全体像を以下に示す。①学術部：学術部のもとに研究推進委員会を新たに設置し、学術委員会と研究推進委員会の両委員会を両軸で推進することで、会員の学術的な水準を高める。この取り組みを通じて、会員施設における認定薬剤師や専門薬剤師の輩出、それによる患者サービスの充実や指導薬剤師の養成につなげる。②業務部：会員施設における診療報酬関連業務、医療安全、自然災害に対する平時の準備・防災対策ならびに医療DXの推進を図るため、施設間の相互連携や支援体制を構築する。さらに長野県や他の職能団体との相互連携を強化することで、信州保健医療総合計画に沿った地域性を考慮した医療提供体制を整備する。③教育部：本会主催または共催の研修会や講演会を一元的に管理し、会員が日病薬病院薬学認定薬剤師を取得しやすい環境を整え、次世代を担う病院薬剤師の育成に取り組む。さらに会員施設における薬学生実務実習の質の担保と指導薬剤師の養成による受入体制を整備することで、ふるさと実習の充実を図る。④総務部、特別委員会：ホームページ、会報誌ならびにマスメディアなどを利用した会員および地域社会への情報発信力を強化するとともに、長野県の10年先の地域医療を見据えた本会の将来構想を検討する。また、病院薬剤師が直面する諸問題に対して、特別委員会を通じて、機動的に対応する。⑤会管理・事務局運営：収支決算書から、会計上、健全な会管理・事務局運営が確認できる。昨今の社会情勢から、物品購入、施設利用ならびに雇用に要する費用が高騰する一方で、企業からの寄付や支援が減少している。本会の事業継続性のために、受益者負担を導入し、事業の無駄を省きながら、事務局や委員会活動に必要な経費を確保することで、将来的に企業からの支援に頼らない堅実な会管理・事務局運営を目指す。

令和6年度については、以下に掲げる事項に取り組むこととする。

【学術部：学術委員会】

Catch Copy 『施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践しよう』

I. 通常総会における特別講演

担当：岡澤、六波羅

日時：2024年6月9日(日) 14:45～

会場：長野県薬剤師会 医薬品総合研究センター

内容：薬学部における災害医療の教育・研究・実践

講師：岐阜薬科大学 実践薬学大講座 地域医療実践薬学研究室 教授

林 秀樹先生

内容：血糖正常化を目指す糖尿病の薬物治療

講師：信州大学医学部 糖尿病・内分泌代謝内科 教授

駒津 光久先生

共催：田辺三菱製薬、日本イーライリリー

開催形式：集合開催

II. 長野県病院薬剤師会 病院薬学実践セミナー

昨年度に引き続き、施設を超えて学びを共有し、専門的な深い知識を臨床の場で実践する企画を計画してまいります。

今年度3回の開催を予定しています。

【1回目】

担当：土屋、高見澤、寺澤、朝倉

日時：未定（9月から10月の日曜日、半日を予定）

会場：未定（松本市内を予定）

内容：認定薬剤師取得支援セミナー（仮）

- ・認定薬剤師を目指している方へ症例の書き方レクチャー
- ・すでに認定を持っている方の実臨床での実践状況について
- ・取得を目指す領域毎に認定取得者からのレクチャーや質疑応答 など

講師：未定

参加費：500円（予定）

開催形式：集合開催

【2回目】

担当：林、宮崎、田中

日時：未定（10月から12月の日曜日、半日を予定）

会場：未定（松本市内を予定）

内容：心不全領域の実践セミナー（仮）

- ・心不全領域の最新の薬物治療（SGLT2阻害薬含め）
- ・心不全緩和ケアについて
- ・フィジカルアセスメントについて など

講師：未定

共催：未定

参加費：500円（予定）

開催形式：集合開催

【3回目】

担当：成田、佐藤、田中

日時：未定（12月から2月の平日夕、90分前後を予定）

内容：未定（選択した領域に関する最新情報と、実践でどう生かすかを学ぶ）

講師：未定

共催：未定

参加費：500円（予定）

開催形式：Web 開催

【学術部：研究推進委員会】

Catch Copy 『日常の疑問を解決し医療の質の向上につなげよう！』

活動目標

会員施設の皆様の研究（特に臨床研究）に関する知識と理解の向上、次世代を担う活躍人材の育成を通して、会員施設からエビデンス発信し医療の質向上を目指す。また、その成果を専門薬剤師、認定薬剤師の取得につなげ、会員の学術的な水準を高める。

I. 会員を対象としたアンケートの実施

効果的なセミナーを開催していくために、全会員を対象とした研究に関するアンケートを実施する。アンケートを通じて会員の皆様のニーズを把握し、次年度からの研修計画につなげる（第I回目のセミナーに併せてアンケートを実施する）。

II. 長野県病院薬剤師会 研究推進セミナー（仮）の開催

セミナー①

- ・テーマ：調整中
- ・演者：調整中
- ・日時：9月～10月を予定
- ・参加費：調整中
- ・開催形式：現地開催もしくはWEB開催

セミナー②

- ・テーマ：調整中（特別講演2題の予定）
- ・演者：調整中
- ・日時：12月～1月を予定
- ・参加費：調整中
- ・開催形式：現地開催もしくはWEB開催
- ・共催：小野薬品工業株式会社

【業務部：業務委員会】

Catch Copy 『将来の薬剤師業務を提案します』

■令和6年度 委員会事業計画（案）

活動目標

病院等の利用者様に、安全で質の高い薬物治療を提供するため薬剤師業務の質向上、業務の効率化・ICT化を推進して、新たな業務の展開を提案・検討する。

活動計画

1. 病院間および病院－開局間の業務に関する連携強化と薬剤師のさらなる職能発揮
 - 1) 病院薬剤師の新たな業務について情報共有を図り、業務のレベルアップ・活性化に繋げる
 - ・「ながのけん病薬誌」にて連載企画
 - ・研修会（Web、集合形式）の企画
 - 2) 「病院薬剤師の集い」メーリングリストの利活用の推進

- 3) 災害時医療における病院薬剤師業務の構築
 - 4) 令和6年度長野県病院薬剤師会学術大会への協力
 - 5) 令和6年度診療報酬改定「薬剤業務向上加算」の検討
 - ・薬剤師確保特別委員会と連携
2. 研修会開催
- 1) 災害時医療における病院薬剤師業務に関する研修会
 - ・テーマ : 「調整中」
 - ・日程 : 2024年10月頃
 - ・開催形式: WEB 研修
 - ・共催 : 持田製薬株式会社
 - ・同時開催: 会員施設から業務に関する情報提供
 - 2) 診療報酬改定における病院薬剤師業務に関する研修会
 - ・テーマ : 「調整中」
 - ・日程 : 2025年2月頃
 - ・開催形式: WEB 研修
 - ・共催 : 第一三共株式会社
 - ・同時開催: 会員施設から業務に関する情報提供

【業務部：医療安全対策委員会】

Catch Copy 『多職種で取り組もう！医療安全文化の醸成』

- 1) 県内の医療関係者との仲間づくりを目的とした、情報交換会（学術大会時などへの参加）の開催
 - ①2024年度第1回リスクマネジメント研修会
 - 日時：2024年7月13日（土） 10：00～16：00
 - 会場：長野県看護協会会館
 - テーマ：臨床現場におけるエラーや事故とその対応
 - －臨床検査部門の事例を中心に考えてみよう－
 - 講師：ひたちなか総合病院 TQM 統括室 安全管理センター 根本 誠一氏
 - ②2024年度第2回リスクマネジメント研修会
 - 日時：2024年12月21日（土） 10：00～16：00
 - 会場：長野県看護協会会館
 - テーマ：基礎から学ぼう医療安全（仮）
 - 講師：名古屋大学医学部附属病院 副病院長／医療の質・安全管理部教授 長尾 能雅氏
- 2) ホームページを活用した医療安全啓蒙活動

【業務部：中小病院委員会】

Catch Copy 『「つながる」を力に！』

活動目標

施設の内外に対して「顔の見える中小病院薬剤師」を目指し、気軽に情報交換できる横の連携体系を拡大する。

活動計画

1. 長野県内中小病院薬剤師のための情報交換の場「web 談話室」の運用（毎月 1 回）
2. 長野県内中小病院薬剤師のためのメーリングリスト「長野県中小病院薬友の会」の運用
3. 特別講演&情報交換会の開催（年 2 回）
4. 中小規模施設における人員確保のための検討

【教育部：新人教育委員会】

Catch Copy 『未来の担い手の学びの場、つながろう薬剤師！』

1. 新人研修会の概要と目的

新人薬剤師に病院間・世代間での人的交流を深めてもらうために年 2 回研修会を開催する。研修会の参加資格は原則的に新卒の薬剤師とするが、中途採用や過去の研修会に参加できなかった場合も、事前の参加希望があれば受け入れる。

2. 新人研修会の内容

開催形式として、新人教育委員によるプレゼンテーションと、新人参加型のディスカッション形式を組み合わせる。参加型研修については、新人薬剤師が主体となり、テーマに沿って新人同士の活発なディスカッションが促されるよう委員が進行をサポートする。

3. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携

日病薬病院薬学認定薬剤師制度との連携体制については、教育部全体の事業として協力し推進してゆく。また、新人研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会としての条件を満たすならば、積極的に申請を行う。

4. 新人薬剤師に対しての指導内容の情報収集・情報共有

新人薬剤師の指導にあたっている薬剤師を対象として、各施設の新人教育はどのように行われているか情報収集、また情報共有できる体制が整えられるよう準備を進める。

○令和 6 年度第 1 回新人研修会

・テーマ：『調整中』

・日時：令和 6 年 10 月 日（ ）：～：

・開催方法：インターネットを利用した WEB 開催

・内容

新人教育委員よりプレゼンテーション

グループディスカッション

グループディスカッションのまとめ・発表

※主にグループディスカッションの時間が取れるようタイムテーブルを検討

※2.5～3 時間程度で開催

※生涯研修委員会より情報提供

○令和 6 年度第 2 回新人研修会

・テーマ：『調整中』

・日時：令和 6 年 2 月 日（ ）：～：

・開催方法：集合しての現地開催

（長野県薬剤師会医薬品総合研究センターなどを検討）

・内容

新人教育委員よりプレゼンテーション

グループディスカッション

グループディスカッションのまとめ・発表

※主にグループディスカッションの時間が取れるようタイムテーブルを検討

※第1回研修会参加者へ開催後に第2回のテーマ・内容等のアンケートを取り、開催内容を検討する

【教育部：薬学生教育委員会】

Catch Copy 『実務実習を通じて未来の病院薬剤師を育てる』

<事業計画>

1. 実務実習に関する対応・情報発信

①長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会と連携して、実習に関する対応や情報発信を行う。

②関東地区調整機構および薬学教育協議会からの情報があれば県病薬のHPやメーリングに配信する。

2. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのWSや認定講習会への関わり

①開催案内・参加希望集計および定員を超えた場合の調整

②タスクフォースとしての参加や派遣調整

③タスクフォースを輩出する体制の整備・強化

3. 長野県内における認定実務実習指導薬剤師の把握（所属・人数など）と連絡体制の構築・整備

有資格者の移動・退職等により把握しきれていない部分がある。委員会として永続的に有資格者を把握し、実習関連の案内・周知などを迅速・簡便・安価にできるような連絡体制を構築・整備する。

4. 長野県薬剤師会薬局実務実習推進委員会との合同会議

5. Webを通じた薬学実務実習についての情報共有

【教育部：生涯研修委員会】

Catch Copy 『『小事が大事を生む』からこそ、積み重ねよう研鑽、自信と信頼のために！』

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システム（HOPESS）運用における周知と手順確立

- ・日本病院薬剤師会会員管理システムの登録
- ・研修会申請手続きと報告業務のサポート
- ・研修会開催方法
- ・受講者管理

2. 研修会申請業務の連携

- ・生涯研修委員による研修会申請業務のサポート
- ・事務局との連携

3. 県病薬主催研修会の実績の配信

- ・研修会の実績（研修日時・内容・受講領域・取得単位数）を定期的に県病薬ホームページに公開する

- ・ 会員の認定申請のための確認用および研修会主催者の振り返り用ツールとして提供
4. 生涯研修委員会が主催する研修会の実施
- ・ 年1回実施（令和5年度は、3月中旬に実施）
 - ・ 領域ⅠまたはⅡに特化した研修会を企画する（WEB開催）

【総務部：総務委員会】

Catch Copy 『県病薬の全ての活動を縁の下から支えます』

- ① 通常総会・臨時総会・学術大会を関係委員会と協力して企画及び実施
- ② 病院・診療所薬剤師の未加入者へ対する入会の促進
- ③ 賛助会員制度・県病薬誌広告のあり方に関して検討
- ④ 会員名簿の作成
- ⑤ 法人化検討特別委員会への協力
- ⑥ 日本病院薬剤師会の事業計画を考慮した長野県病院薬剤師会の方向性検討
- ⑦ 日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の現状調査への協力と、調査結果より課題の検討

【総務部：広報委員会】

Catch Copy 『こんなことやってます！文字で伝える県病薬誌』

活動目標

県病薬会員の知りたい情報を吸い上げるとともに、活動を共有できるような病薬誌の編集に努める。他都道府県病薬誌を参照するほか、読者アンケートを行い編集会議へ還元することでコンテンツを見直していく。県病薬アピールのための方策の一環として、ホームページ委員会との連携により情報発信するツールを使い分ける。

活動計画

1. 県病薬誌の発行（4回）
2. 広告獲得
3. 編集会議（広報委員会）の開催（4回）

【総務部：ホームページ委員会】

Catch Copy 『ホームページを見に来たあなたへ、グッドラッグ！』

ホームページの情報配信、コンテンツ作成を中心に迅速な情報提供に努めていき、会員のみなさまにより見やすく、使いやすいホームページを整備していきます。また、日病薬クラウド型会員管理システム本格稼働に向けて事務局と連携し、進めていきます。

- 1) ホームページの機能
 - (1) 掲載されているコンテンツの充実
 - (2) 必要な情報の迅速な配信、管理（日病薬から発信される情報、各種研修会）
 - (3) メーリングリストの管理
- 2) 各委員会との連携による情報配信
 - (1) 薬剤師確保特別委員会（ホームページの求人窓口）
 - (2) 薬学生教育委員会（ホームページからのWS申込フォーム作成）
 - (3) 広報委員会（病薬誌のバックナンバー掲載、アーカイブ化）

- (4) その他委員会からの必要な情報の迅速な配信（学術委員会・生涯研修委員会など）
- 3) 日病薬クラウド型会員管理システムの管理（令和6年4月より本格稼働）

【薬剤師確保特別委員会】

Catch Copy 『不足する病院薬剤師のナカマ作りをサポートします！』

活動目標 主要8施策を軸とした病院薬剤師確保事業への継続的な取り組み及び新たな施策の展開と検討。

活動計画 主要8施策への継続的アプローチ

- ①行政（長野県）及び政治的な連携強化
- ②病院薬剤師職能の啓発
- ③中・高生の職場体験の受入
- ④求人/相談窓口及び病院見学会の検討
- ⑤新人及び薬学生へのアプローチ、就職説明会の開催
- ⑥薬剤師確保の現状調査
- ⑦薬剤師確保好事例集の集積
- ⑧その他

【会計部門】

運営費、会費の適切な運営管理の推進